

議会だより

令和5年5月

もろっか

令和5年 第177号
編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会



諸塚小学校



荒谷小学校



諸塚中学校



諸塚幼稚園

■村内幼稚園・小中学校入学式の様子

もくじ

令和5年第1回諸塚村議会	2
定例会	3
当初予算	4
総括意見・個別意見	10
議会活動報告	7
総括質疑	5
一般質問	5

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 ☎(0982)65-1130

議案の概要

令和5年第1回諸塚村議会定例会

(3月8日~17日)

予算認定8件、補正予算7件、条例8件、教育委員、公平委員の同意について、が提出され審議が行われた。

令和5年度 一般会計予算及び特別会計予算		
一般会計	44億3千300万円	
全特別会計	15億6千710万2千円	
令和4年度 一般会計補正予算及び特別会計補正予算		
項目	補正額	予算総額
一般会計	△2億7千200万円	41億6千900万円
7特別会計	77万9千円	11億5千790万9千円

一般会計予算は、昨年9月の台風災害復旧事業費が15億745万円あり前年度比で14億7千700万円の予算増となりました。
補正予算については、事業費確定による補正です。

令和5年度 予算額	
諸塚村一般会計	44億3千300万円
国民健康保険特別会計	3億1千180万円
後期高齢者医療特別会計	3千300万円
介護保険特別会計	2億6千347万4千円
簡易水道事業特別会計	3千4万8千円
公共下水道事業特別会計	5億1千804万5千円
国民健康保険診療所事業特別会計	3億9千700万円
発電事業特別会計	1千373万5千円



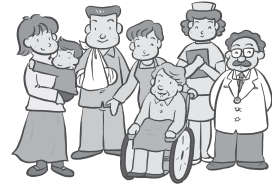
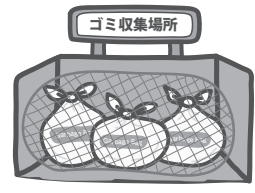


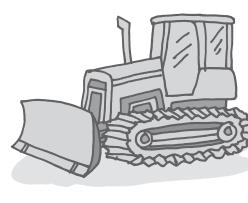
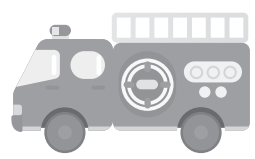
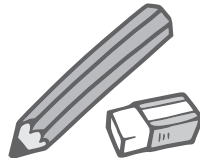


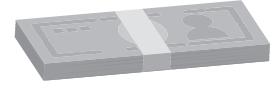
令和4年度 補正予算額		
項目	補正額	予算総額
諸塚村一般会計	△2億7千200万円	41億6千900万円
国民健康保険特別会計	660万円	3億3千540万円
後期高齢者医療特別会計	190万円	3千520万円
介護保険特別会計	△777万7千円	2億8千955万1千円
簡易水道事業特別会計	△575万7千円	2千970万7千円
公共下水道事業特別会計	△1千218万7千円	8千205万1千円
国民健康保険診療所事業特別会計	1千800万円	3億8千600万円

44億3千300万円(当初予算)

令和5年度一般会計予算

令和5年 第1回定例会

(前年度 29億9千600万円 比較 14億3千700万円増)

議会費  4,665万円	総務費  4億9,035万円	民生費  4億2,382万円	衛生費  1億6,547万円
農林水産費  6億3,940万円	商工費  4,794万円	土木費  3億4,604万円	消防費  2,585万円
教育費  2億2,249万円	災害復旧費  15億720万円	予備費  1,000万円	公債費  3億1,688万円

教育委員会の委員の任命及び、東臼杵郡公平委員会の委員の選任についての同意について
 村税の徴収等の特例に関する条例を廃止する条例の制定について
 議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 諸塚村子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 諸塚村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 諸塚村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 諸塚村議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
 諸塚村災害派遣手当に関する条例の制定について
 諸塚村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
 東臼杵郡公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて (3件)
 いずれも原案どおり可決成立しました

総括意見

令和5年度も、ロシアのウクライナ侵攻による影響で経済の下振れリスクを抱え、コロナ感染も落ち着きを見せているが油断は出来ない状況である。

国は、こうした状況に先手を打ち「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長の為の投資と改革」を打ち出しており、予算も昨年度より6兆7,848億円多い114兆3,812億円となっている。

これを踏まえた令和5年度諸塚村の歳入歳出一般会計当初予算は44億3300万円で、前年度より14億3700万円の増額となった。

諸塚村の地方交付税は、村税収入が増加した事により、前年比2,000万円減の14億2,000万円を見込んでいる。

骨格予算として義務的経費及びその他の予算は減額となったものの、昨年9月の台風14号の災害復旧事業費が15億745万円と大きく増えている。

台風被害からの復興を第一に、生活福祉や高齢者、子育て支援の充実、産業振興推進など「村民の暮らしの視点」に立った予算となっており、執行部の苦心の後が伺える。

地域おこし協力隊受け入れ、ピアノの森コンサート、特産品開発支援、村営住宅改修事業、外国語指導助手 (ALT) が配置されている。

本予算が、村民生活に寄与することを期待して、総括意見とする。

個別意見

1. 台風14号災害の早期復旧
2. 人手不足対策
3. 森林環境譲与税の有効活用



モザイク林相



災害調査の様子

一般質問

今回4名の議員が質問をしました。

①これからの村政運営について



尾形 浩一 議員

問 2期8年間ありがとうございました。これからの諸塚村がどうあるべきか、又4月に誕生する新執行部にアドバイスがあれば伺いたい。

答 本村は、明治40年に林業立村を村是として今に至るがこれは不変だと考える。産業振興はもとより福祉、医療、教育などの施策を時代に応じて築いてきた。変化に応じて、新分野や手法にも果敢に取り組んで行く事は大事だと思う。守るべきは守り時代の変化には適切に対応して、村の存続を図るべきである。アドバ

山本多喜弥議員



山本 多喜弥 議員

①高校生に対する宿泊費などの助成について

問 諸塚村では、中学校卒業後、下宿や寮などで生活せざるをえないが、そのための奨学金制度はあるが、助成金は無い。

今、村民全員が物価高騰の打撃を受けている。特に、高校生の保護者は、まずは制服代から始まって、宿泊費までの出費が出てくる。これに助成金を出しても良いと思うが、それについて伺いたい。

答 現在、誕生祝金から卒業祝い金また、子ども医療、保育料、給食費の無償化、奨学金制度の拡充など、子供子育ての支援として手厚い対応を行っていることもあり、過去の答弁でも、多くの村民の意見を聞いて判断すべきだと、回答している。

①村政の引継ぎについて



岩本 國和 議員

岩本國和議員

問 村長は9月の議会で、次期村長選挙には立候補しないと表明しました。その後、台風14号が襲来し、村に甚大な被害をもたらし、激甚災害に認定され、復興



西川 健 村長

西川村長



には、全てのものとの隔たりのない信頼関係がないと成り立たない。そこがポイントと自身の経験、また自戒を込めて述べさせていた

今年4月からの高校生は、34名の見込で、年額408万円から、816万円の財源が必要となる。今後の経済の状況や、財源と照らし合わせながら、今後の課題として捉えている。

山本多喜弥議員

近隣町村では、助成しているところもあるようだ。

に向けて取り組んでいる最中である。このように課題山積している中、次期村長に望むことは何か、伺いたい。

西川村長

答 次期長としての村政に対する強い熱意というものはあると思う。実に多くの業務に携わることから、持つ個性、多様性など大いに発揮し、村民の皆さんに何をすれば喜んでもらえるのか、価値あるものが提供できるか、それに託したいと思う。

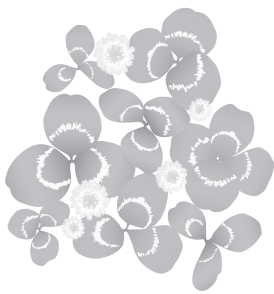
②農業用水路について

岩本國和議員

問 台風災害で農業用水路が使えない状況になっている。村は水路台帳がないため、補助事業で対応することなどで利用者自身に対応するしかないとのことだが、大きな被害を受けているところは業者でなければできない。どのような対策をするか伺いたい。

西川村長

答 農業用水路、止水堤等災害で被災した施設について98%の補助率で復旧することとし、負担額の上限を2万円としている。まだ復旧のめどが立っていない箇所があれば建設課へ報告相談をしていただきたい。



岩本國和議員

問 役場は現場を見に来ているいないとの声もあるが、

現場を見ることも大切ではないか。

西川村長

答 建設課、産業課が担当しており、報告がないと全体を把握することが困難なようである。被害甚大により耕作に間に合わない部分も出てくると思うが御理解を賜りたい。

①人手不足に対する賃金アップについて



梅田 義輝 議員

梅田義輝議員

問 林業現場や建設関係会社における人手不足は深刻である。一方、生産資材を始め物価高騰等で今までになく賃上げに対する環境は整っている。村長は村内

企業や経済団体に対し、指導、監督できる立場にある、村長の積極的な関与をお願いしたい。

西川村長

答 ウッドピア諸塚、社会福祉協議会など村行政と関係の深い団体については、停滞することがないよう、給与面や福利厚生で関与しているが、他の経済団体についてはそれぞれ経営運営があるので直接的な関与は厳しい。それぞれの団体が時勢を考えて動いて頂くとうれしい。その上で、国、県の補助金を導入しながら、森林環境贈与税などと組み合わせる賃金アップを考えていただきたい。

②道路の維持管理について

梅田義輝議員

答 人口減少とともに、過疎化、高齢化が進む中、村

内の村道、林道、作業道の維持管理は益々困難になるうとしている、専門チームを設置して対応できなきか検討してほしい。

西川村長

答 現在の重機班を拡充して維持管理を、永続的に行なう考えであり、重機班員の募集をかけているところだが、申込み者がいないので苦慮していると。今後とも募集を継続して村民の負託に応えたいと考えている。



歳入歳出決算に対する質疑応答 (総括質疑)

①マイナンバーカードについて

田原 2月28日付で申請された方の人数は。

住民福祉課長

86、38%となっている。まだ200名強 未申請者がいる。

田原

施設入所者等は申請が厳しいと思われるが、あとのくらいの割合で申請が可能と思うか。

住民福祉課長

100%を目指してやりたい。

田原

意思確認ができない方の対応と、金融機関にひも付けということもありセキュリティの面で村民は大きな不安を抱えている。考えを聞きたい。



住民福祉課長

意思確認ができない場合は、ご家族の方や施設職員と協議して推進を図りたいと思う。国の施策としてもメリットがなかなか見えてこないところでもあるが、国策としての推進なので後れをとってはいけなさと考える。情報が入ればメリットについても周知をさせて頂く。

②子育て支援と高齢者支援について

田原

児童生徒の医療費無料化が今回、高校生まで延長されたことは大変喜ばしいことと思う。今後どのような展開をされていかれるのか。

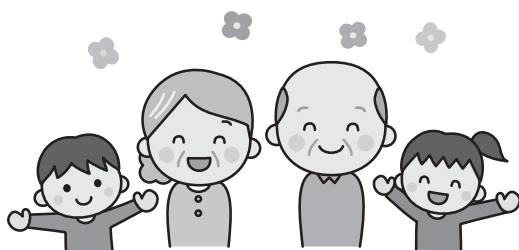
住民福祉課長

ほぼほぼ経済的支援対策は充実していると考える。児童福祉施策、母子福祉施策等を同時に行う組織体制として4月1日から子ども家庭センターを発足する。今後は不安解消、声を聞いて助け、アドバイスできるような窓口対応について充実強化をしたいと考えている。

田原

全国的に子育て環境の充実が図られる中で、高齢者の問題が議論されていない。毎年年金支給額が減額されても声すら上げられない状況である。村の6大産業を支えているのは、高齢者の

皆様の力である。村として高齢者の皆様の事を見捨ててないぞ、という姿勢をしっかりと届けて欲しい。



③未来塾について

田原

令和元年度に創設された未来塾については、議員の成り手不足、人材育成、又若者の意見を会議に反映させて欲しいと議会から提案させて頂いた。当初は、塾の傍聴に対して案内をもらっていたが、最近は何もない。塾生からは、なかなか意見を取り上げてもらえないとの声もあるが、教育委員会の考え方は。

教育課長

意欲の問題もあるが、良い意見も出ている中で、それをどうするのかについては、まだまだ議論していく余地がある。事務局としては、村内の有志、希望者を募集してそういった方々の意見について、いろんな議論を活発にやってもらいたいと考えている。

田原

コロナ禍でできなかった

ことが多かったにせよ進んでいく状況が見えてきても良いのではと思う。塾生については当初から継続している方も多いのでやる気はあると思う。何かの場に活用するとか、村の会議に参加させるような取組みをして、成果を少しずつでも出して頂きたい。

教育長

停滞しているのは確実なので、意見を参考にしながら、前向きに取り組んでいきたいと思う。

④木材の出口戦略について

尾形

木材の出口戦略について何う。

産業課長

令和4年に政府がグリーントランスフォーメーションの現に向けた基本方針をまとめている。改質リグニンにも大いに注目している。セルロースナノファイバーについても、旭化成が延岡に工場を持っている。今後も調査、研究を進めていく。

⑤特産品開発について

尾形

特産品の開発について何う。

企画課長

特産品開発については、令和2年からコロナの交付金があったのを活用してハンバーグとカレーの商品化に至った。追加でスナック菓子と雑炊等を開発中である。今後、海外も含めて乾椎茸の売り先開拓を進める必要がある。

⑥神楽の国指定について

尾形

神楽の国指定の現状と見込みについて何う。

教育課長

諸塚神楽の特徴と云う項目は99%出来ている。他に付随項目についても分担してやっており、6月末を目標に取り組んでいる。6月に原稿を提出したとして校正等に3ヶ月から半年かかる。令和6年3月位には製本にならないと調査できませんので、国、県とも打ち合わせしながら進めていく。

⑦森林環境譲与税について

山本

森林環境譲与税は基金に積み立てるのではなくて、無駄遣いをしなくて良いが、その年度で使い切ることには出来ないものか伺いたい。

産業課長

令和4年度は、6,850万円の配分で、5年度も同額の配分予定である。予算で

は全額計上しているが、執行できなかつたものもあり、積み立てている。生産者、森林所有者の方々に意見を聞いて、極力積み立てに廻らないよう有効利用しようと考えている。



⑧災害関係について

山本

今回の災害復旧は、3年で終わらせないといいけないと聞いたが、間に合うように出来るのか伺いたい。

建設課長

令和4年度発生なので、令和6年度までに終了しないといけない。耕地災害は2月に発注が終了したが、

あと今から新年度に向けて約300箇所程度の災害がある。新年度予算で林道災害5億円、土木債10億円組んでいるが、査定を受けて決定しているのが45億円ほどあるので、補正で発注していかないといいけない。日向あたりから応援していただき、計画的に2年間で終わらせたいと考えている。



⑨今後の国道503号の今後の取り組みについて

若本

最初にこれまでの事業へのお礼を申し上げる。国道503号に対する村民の熱い思いを熱心に訴えていた

が、その粘り強い姿勢が、飯干パイパスの事業化採択に繋がった。やっとの思いでこぎ着けた事業の一日も早い完成を目指すには、これからが本当の正念場と感じているが、今後について何か感じていることがあれば、お願いしたい。

村長

令和4年度に事業化されて、7千万円ほど調査設計費がついているが、県土木駐在に確認したところ、測量コンサルタント委託していたが、台風14号で災害のほうに手を取られ、調査測量が遅れているようである。令和5年度も調査設計をして、ルートが決まって、測量が終わって、用地買収にかかるので、実際に着工になるのは、早くも令和6年か7年という状況である。130億円で10年間ということだが、この物価高騰で、どうなることか危惧される。この事業の継続には、執行と議会が一体となって、また期成同盟会を中心にやっいていく基本スタイルを進めていただければと思う。

⑩女性専用住宅について

岩本

せせらぎの里の女性専用職員住宅の利用状況をお聞きしたい。

住民福祉課長

諸塚村福祉職員住宅管理要綱を改正して、介護、医療、福祉等の職員、そういった資格取得の専門職が入れるような施設とした。

⑪耳川流域インフラツーリズムについて

岩本

耳川流域のダム、橋梁のインフラツーリズムへの関わり方についてお聞きしたい。

総務課長

日向東臼杵郡振興協議会で九電と一緒に進めている。

⑫野生鳥獣による被害対策について

岩本

野生鳥獣被害対策で罠の器具に対する支援はできないか。

産業課長

罠の購入に対する支援は行っている。箱罠は1基当たり6万3000円の3分の2、罠い罠は1基当たり27万7000円の3分の2、くくり罠は1台当たり6000円の3分の2の支援をしている。



議会活動報告

月	日	行事名	参加者	場所
1	16	第1回臨時会	全員	役場
	26	議会全員協議会	全員	役場
		広域連合議運	総務常任委員長	役場
	27	時局講演会	全員	高鍋町
2	2	三村議会協議会要望活動	議長	宮崎市
	13	入郷地区衛生組合議会	総務常任委員長	美郷町
		日向東白杵広域連合議会	総務常任委員長	日向市
	16	町村議長会総会	議長	宮崎市
	20	県北事務組合議会	総務・産業常任委員長	延岡市
	28	議会全員協議会	全員	役場
議会運営委員会		全員	役場	
3	8	第1回諸塚村議会本会議	全員	議場
	9	予算審査特別委員会	全員	委員会室
	10	予算審査特別委員会	全員	委員会室
	13	予算審査特別委員会	全員	委員会室
	15	予算審査特別委員会	全員	委員会室
	17	議会本会議(最終日)	全員	議場
	24	郡議長会定期総会	議長	日向市



予算審査特別委員会の様子



随想

中田 政雄

早いもので、あっという間に70歳をすぎてしまった。年を重ねる毎に1年1年が短く感じるのは皆さんも同じなのかな？

今、自分が軽トラックの荷台から飛び降りる事も躊躇する始末で、子供の頃、いや最近まで思っていた、(爺さんや婆さんは何で早い事ができんとじゃろか)とか、夕食が終わってテレビを観ながら寛いでいる時に肩や腰を揉んだり、湿布を貼ったりしていた自分が、して貰う側になっってしまった。これが歳を取る事か少しずつ分かり始めた。

歳を取って高齢になる事は考えてもみなかったし、自分よりも年上の方々、先輩方は多くおられます。「その歳で何を言いよつとか!」が聞かれますが、なんといつても体が一番、元気が一番、人生百年と言われる今日、一つでも楽しい事を見つけて仕事が出来ると喜びと健康に感謝して頑張るしかないでしょう。フアイト一発!

編集後記

この編集委員での最後の議会だよりとなりました。4年間の中で、1年目は良かったのですが、2年目からはコロナで振り回されて、思うような議会活動も出来なかつたように思います。さて、この時期になると、色々な花も咲き誇り、小学校の新入生も、そろそろなれてくるのではないのでしょうか。なれてきはじめたら、道路への飛び出しが増えてきます。お互いに、交通安全等に気を付けて、交通事故や犯罪の無い、住みよい諸塚村に成れぼと思えます。

(編集委員)

山本多喜弥 尾形 浩一
堀 英博 田原 尚美

(山本)

議会傍聴してみませんか？

次回の定例会は6月開催予定です。
心よりお待ちしております。

《お問い合わせ》議会事務局 TEL 65-1130